



# 若者がワンサカ集まる会社になる

## 秘訣!

株式会社北見式賃金研究所 所長 北見 昌朗

社会に出たのは昭和57年。経済記者として毎日、経営者に突撃取材。社長さんたちのド真剣な生き様に感銘を受け、経営者になりたいと一念発起して独立したのが平成7年。以後、経営者に給与の払い方を提案しつつも、自分が職員の給与問題で四苦八苦。社長の孤独さ、辛さをまじまじと実感。負けてたまるかと、自分を叱咤激励! モットーは「社員あつての会社 会社あつての社長 社長あつての社員」。「愛知千年企業」(中日新聞社)など著書多数。名古屋出身。

### 第4回目 ライバル会社を徹底調査する

「彼を知り己を知れば百戦殆うからず」という孫子の言葉があります。これは求人においても、そのまま当てはまります。

ライバル会社の求人情報を調査することは、求人作戦の第一歩です。今回は、その極意を伝授しましょう。それに役立つのがハローワークのインターネットサービスです。「フルタイム名古屋市内」という条件で、1万5千件(平成28年6月時点)の求人票が出てきました。情報量が凄いです。

仮に名古屋市内で、自動車部品製造業の会社が、NC旋盤の技術者を募集するとします。その場合は、こんな感じで検索してみましょう。求人情報として「フルタイム」を選ぶと、その中に雇用形態が分かれていて、その中で「正社員」を選択。希望する産業として「輸送用機械器具製造業」。就業場所として「名古屋」。フリーワードとして「NC旋盤」。ここまで絞ると、求人票は8件になりました。

求人情報を一覧表にしてみました。初任給は「19万円から30万円」などと幅を持って表示する場合がありますが、その低い金額の部分を見ますと、23万円台2社、22万

輸送用機械器具製造業(フルタイム・正社員・名古屋市内 勤務・フリーワード「NC旋盤」)の求人情報(全8件)

初任給		年間休日数	
23万円台	2社	107日	3社
22万円台	1社	105日	2社
19万円台	3社	101日	1社
17万円台	2社	96日	1社
		92日	1社

円台1社、19万円台3社、17万円台2社となっていました。また年間休日数を調べてみると、107日3社、105日2社、101日1社、96日1社、92日1社となっていました。

ここで検討したいのは、目標の定め方です。「初任給は20万円以上、かつ、休日数が105日以上」でなければ求人土俵に上れないことがわかります。それより下は引き立て役です。できれば「世間相場プラスアルファ」を目指したいもの。ということとは、「初任給21万円以上、かつ、休日数が108日以上」くらいがふさわしいのかもしれない。初任給を引き上げれば、給与全体に響きますので、ここは経営

体力を考慮して決定するところ。また民間求人サイトでも、同様にライバル企業調査を行なってください。

このようなライバル調査を行なった上で、ベンチマーキング企業を特定すると良いでしょう。「あの会社だけには負けたくない」と思っている会社のことです。そこを自社を徹底比較して、どこが負けているのかを調査するのです。少しでも上をいくように心掛けたいものです。

無名の中小企業の採用力を決める要素は「初任給×年間休日数×勤務場所×ホームページの出来」だと思います。最近このなかでも力を入れたのは、求人を意識したホームページです。明るい色彩か? 笑顔の社員が紹介されているか? 仕事のやり甲斐を感じるか? 社内コミュニケーションの良さは? 等々を感じさせるようにしてください。スマホで見た時に、ライバル会社に負けなようにしたいものです。

### ポイント

- ①ライバル会社の求人情報を徹底調査する
- ②そこより少しでも上の初任給と休日を提示しよう
- ③ホームページの充実も忘れずに